

冬の企画展

ふくいのクリエイターが案内する「観光×デザイン」

ふくいの



福井で活動する 20代のクリエイターらが紹介する 福井の楽しみ方

北陸新幹線福井開業が迫るなか、福井を訪れる人々にどのような魅力を紹介しますか？ 人気の定番スポットのほかにも、福井にはまだまだ見どころがあふれています。本展は、福井で活動する20代のデザイナーや建築家などのクリエイターらが福井に点在するたくさんの魅力を「観光」をキーワードで紹介します。

2024 1.20(土) → 3.3(日)

詳細はこちら



会場 / 金津創作の森美術館 アートコア
開館時間 / 10:00 ~ 17:00 (最終入場 16:30)
観覧料 / 一般 500円 (400円)、65歳以上・障害者 250円、高校生以下・障害者の介護者(該当障害者1人につき1人) 無料 ※( )内20人以上の団体料金

参加クリエイター / デザインやマスメディア広告などに携わるプロフェッショナルチームであるフーカFUCA(福井クリエイターズ・アソシエーション)と福井県デザイナー協会のメンバー。活動をとおり、福井の産業振興や文化活動に貢献している。

2024年開催 あさい ゆうすけ 浅井裕介展 ほしくず 星屑の子どもたち 4.27(土)~8.25(日)



©Yusuke Asai, Courtesy of ANOMALY

土やマスキングテープなどを素材に、人や動物、植物をリズムカルに、かつ躍動するダイナミックな作品を発表し続けている今注目のアーティスト・浅井裕介さん。県内の土を使った大型の泥絵作品など、森の屋内外で、のびやかに制作します。

新幹線開業に向け、プロジェクト始動！ アーティストと一緒に作品制作してみませんか？

募集中

作品制作ボランティア

アーティストとともに作品を制作できる貴重な機会です。一緒に作品をつくりましょう！ 活動予定：3月中旬~4月上旬

申込・詳細はこちら



お問い合わせ / 金津創作の森美術館 学芸課 TEL.0776-73-7800

第40回 FUKUI サムホール美術展 作品募集

主催(公財)金津創作の森財団・FBC

あわら市民の皆さんも ふるって ご応募ください！

芸能人才能査定ランキング番組「プレバト!」の水彩画査定でおなじみのむら しげあり 野村重存氏が本展特別審査員！



野村重存氏

大賞には賞状・副賞 30万円を進呈！

サムホールとはキャンバスのサイズが22.7cm×15.8cmの規格のものをいいます。はがき2枚よりひと回り大きいサイズです。この限られたスペースに凝縮された美と創造を競う展覧会が本展です。国内の代表的サムホール展として、毎年全国から多数の力作が寄せられています。入門者、ベテランを問いません。ふるってご応募ください。

詳細はこちら

作品受付期間 2月14日(水)~16日(金) 必着

展覧会 / 3月16日(土)~3月31日(日) ※月曜休館



男女が共に輝くまちづくりを

◆12月10日(日) 中央公民館



市民一人一人が生き生きと輝いて暮らせるあわら市を目指して第20回「あわら男女共同参画のつどい」が開催され、男女共同参画に関する感謝状や図画作品の表彰、展示が行われました。

また、一般社団法人メロウ倶楽部理事の若宮 正子さんが講演を行い、多くの人が真剣に耳を傾けていました。

寒ブナ地引き網漁、復活！

◆12月16日(土) 北潟湖



あわら市の冬の風物詩である寒ブナ地引き網漁が始まりました。船で網を湖に渡した後、地元の漁師がゆっくりと引いていくと、寒ブナやズキが数匹掛かりました。

これまで網元がないことで存続が危ぶまれましたが、親族が引き継ぎ、北潟湖漁業協同組合の協力もあり、伝統漁法が復活しました。今回は漁獲が少なかったものの、次の漁に手ごたえを感じていました。

ご寄付ありがとうございます

◆12月21日(木) 市役所

NPO法人細呂木地区創成会から門松を寄贈いただきました。同会は、地区内で増えすぎた竹を伐採して有効活用するとともに、地域の活性化につなげようと門松の製作に取り組んでいます。寄贈いただいた門松は、市役所正面玄関に飾っていただきました。



まちかど graffiti では、広報係が取材した「あわらの話題」をお届けします！



みんなで協力して門松作り

◆12月13日(水) 細呂木小学校



細呂木小学校の4~6年生の児童39人が、NPO法人細呂木地区創成会のメンバーに教えてもらいながら、門松作りを行いました。細呂木地区でとれた竹の鉢に土を入れ、松や梅の枝で飾り付けをしました。児童同士で話し合い、協力して立派な門松が出来上がりました。

完成した門松を見て児童たちは「上手にできたので、家に持って帰るのが、楽しみ」と笑顔で話していました。

女将の酒ついに！完成！

◆12月21日(木) 芦原温泉旅館組合



「あわら温泉女将の会」のメンバーによる日本酒「女将」のお披露目会が開催されました。「女将」の酒作りは、今年で10年目を迎え、お披露目会ではこれまでの10年を振り返り、日本酒「女将」プロジェクトに関わった人にお酒を贈呈しました。

心を込めて作られた新酒の出来は甘口・辛口ともに上々だそうです。12月4日に初しぼりを終え、甘口1,000本、辛口4,000本を製造しました。このお酒は、芦原温泉旅館協同組合に加盟する旅館で提供・販売されます。

